

平成28年度 奈良県立五條高等学校（全日制）学校評価計画表

| | | | | | |
|---|---|------|-------|-------|---------|
| 学校経営方針 | <p style="text-align: center;">夢の実現を目指した活力ある学校</p> <p style="text-align: center;">～志を高く その気になれ～</p> <p>本校では、将来の目標を見据えて、常に高い志をもって行動できる生徒の育成に重点を置いている。さらに、「社会で自立して生き抜く力の育成」を目指し、「未来につながる確かな学力」「豊かな心で人と連なるコミュニケーション能力」「困難に打ち克つ体力・忍耐力・規範意識の向上」に努める。</p> | 総合評価 | | | |
| 前年度の成果と課題 | これまで、全日制・定時制・昼間定時制とそれぞれの生徒の実態に合わせながら、充実した施設設備を最大限に活用し、創造的で独創的な多くの取組を積極的に実践することによって『学校の魅力づくり』と『入学希望生徒の確保』を学校経営の主眼点とし、学校の活性化に取り組んできた。学校教育改革に向けた取組をはじめ10年余りが経過したが、地元五條市等の少子化の進行で不安定要素が大きくなっている。 今までの取組を通して、明らかになった課題を整理し、生徒・保護者の期待に応えるべく、学力の向上を図るなど更なる改善・充実を図る必要がある。 平成27年度は、入試におけるスクールバスの運行をはじめとして、中学校や保護者に対して積極的な広報に努めてきた。 平成28年度は、本校創立120周年を迎えるに当たり、10年後を視野に入れた新しい学校改革の具体的方策を検討するとともに、積極的な取り組みを進めたい。 | | | | |
| 本年度の重点目標 具体的目標 ○主な具体的方策 | 評価の指標（担当）等 | 自己評価 | 成果と課題 | 改善方策等 | 学校関係者評価 |
| 1 「社会で自立して生き抜く力」の育成 (1) 未来につながる確かな学力 ①家庭での主体的な学習の拡充、学ぶ意欲の醸成 ○学習活動の工夫を図る。 ②少人数・習熟度別指導の充実、外部講師の活用 ③オーストラリア姉妹校交流による国際感覚の涵養 ○ガートン校との海外短期研修を円滑に行う。 ④計画的・系統的な進路指導とキャリア教育の充実 ○進路決定に向けたホームルーム活動や相談活動を充実させる。 (2) 豊かな心で、人と連なるコミュニケーション能力 ①地域と繋がり、地元貢献するボランティア活動の推進 ②生徒が主体的に運営する学校行事の工夫 ○生徒会執行部の活動の活性化を図り、魅力ある実践活動を目指す。 ③各教科・総合学習の授業における言語活動の充実 (3) 困難に打ち克つ体力・忍耐力・規範意識 ①部活動活性化による「文武両道」の実現 ○部活動加入に向けた取組を工夫し、部活動加入率を向上させる。 ②「金剛登山」など、豊富な体育行事で鍛える体力・忍耐力 ○体育活動を通して生徒の心身の健全な発育と体力の向上を図る。 ③徹底した交通安全教育・挨拶運動等で規範意識を醸成 ○原付免許取得者や自転車通学者に対して安全運転の意識を高める。 | ⇒生徒アンケート「五條高校で行われている授業や課題、小テスト等に取り組むことで、うまく学習を進めることができている。」(教務部) 28年度<目標:82%> ⇒保護者アンケート「五條高校で行われている授業の内容や進め方に満足している」(教務部) 28年度<目標:90%> ⇒本校よりの短期研修における参加人数 (総務部) 28年度<目標:15名> ⇒生徒アンケート(第3学年)「自分の希望する進路実現ができた」(進路指導部) 28年度<目標:95%以上> ⇒生徒アンケート(全学年)「五條高校では、生徒一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」(進路指導部) 28年度<目標:90%> ・高校生による地域貢献活動 ・五條市学生版元気なまちづくり交付金関連の取組 ⇒生徒アンケート「五條高校の生徒会活動は活発で、関心が持てる内容である」(生徒指導部) 28年度<目標:80%> ⇒部活動加入率 (生徒指導部) 28年度<目標:80%> ⇒各体育行事の参加率 (保健体育部) 28年度<目標:95%> ⇒事故件数・違反件数 (生徒指導部) 28年度<目標:0件> | | | | |
| 2 外部との連携・情報発信の強化 ①地域と共にある学校づくりの推進 (小中学校コミュニティ・スクールとの連携) ②育友会・同窓会との連携体制の強化 ○育友会役員会の在り方を工夫し、参加しやすい状況を確保する。 ③HPの充実による効果的な広報活動の推進 ○保護者等にリアルタイムで学校の状況を伝える。 ○授業等の様子をWebページに掲載する。 | ・五條市立小中学校 コミュニティ・スクール部会 ・地域ぐるみで取り組む小・中・高校生規範意識醸成事業 ・中学生のための教科開放講座・スポーツ教室等の開催 ⇒育友会の会員研修会への参加者数 (総務部) 28年度<目標:30名> ⇒学校Web年間更新回数 (総務部) 28年度<目標:120回> ⇒Webページでの情報発信 28年度<目標:年間20回> | | | | |
| 3 安定した入学希望者の確保 ①グラウンド人工芝化による活動の活性化 ②制服のモデルチェンジ ③地域・中学校との連携と学習塾へのアプローチ ○中学生に本校の様子について体験できる機会を提供する。 | ・平成29年3月工事完了予定 ・平成28年度入学生より年次進行 ⇒オープンキャンパス参加者数 (総務部) 28年度<目標:400名> | | | | |

| | | |
|--|--|--|
| <p>4 学校改善のための組織的取組</p> <p>①創立120周年事業による新たなスクールアイデンティティの構築 ○様々な機会に120年の歴史と伝統について生徒に啓発していく。 ②コミュニティ・スクールによる学校改革と諸活動の最適化 (学校運営協議会)</p> <p>③教育相談体制の構築による生徒支援 (スクールカウンセラー・スーパーバイザーの単独配置) ○支援を必要とする生徒やその保護者を対象に、カウンセリングを受ける機会を広げる。 ④授業力向上を目指した取組の充実 ○授業と評価の改善、指導力向上を推進する。</p> <p>⑤いじめを許さない学校づくりの推進 ○人権教育HRの内容に「なかまづくり」を導入・展開する。</p> <p>⑥OJTに基づく若手教員の実践力の育成 ⑦藤花寮の安定管理</p> | <p>⇒啓発活動の回数 (120周年実行委員会) 28年度<目標:年間10回></p> <p>・平成28年7月指定</p> <p>⇒生徒アンケート「五條高校の先生は親身になって接してくれ、気軽に相談できる」(生徒指導部) 28年度<目標:80%></p> <p>⇒教員アンケート「五條高校では、研究授業など、授業改善に向けた取組が活発に行われている」(教務部) 28年度<目標:93%></p> <p>⇒生徒アンケート「五條高校では、生徒に人権を尊重する態度を身に付けようとしている」(人権教育部) 28年度<目標:95%></p> | |
|--|--|--|

各分掌等の評価計画

| 分掌等 | 具体的目標 | 具体的方策 | 評価の指標等 | 自己評価 | 成果と課題 | 改善方策等 | 学校関係者評価 |
|-----|--|--|--|------|-------|-------|---------|
| 総務部 | 1-(1)-③ ○異文化理解を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> オーストラリア・ガートン校との海外短期研修を円滑に行う。 海外短期研修等の内容を他の生徒に還元していく取組を実施する。 「日韓中ESD-GAP推進国際ワークショップ」等の異文化理解の交流会に参加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ガートン校よりの短期研修生のホームステイ受入れ家庭を確保する。 本校よりの短期研修において、参加人数の増加を図り、国際的な視野を広げさせる。 <p style="text-align: center;">27年度 12名 → 28年度<目標:15名></p> <ul style="list-style-type: none"> 異文化理解の交流会に参加し、事後学習をする。 | | | | |
| | ○奨学金受付事務を円滑に実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒に各種奨学金の案内を行い、受付事務を円滑に進める。 | <ul style="list-style-type: none"> 3年進学希望生徒に対し、日本学生支援機構奨学金及び各種奨学金の説明会を年7回実施する。 | | | | |
| | 2-② ○学校関係者への情報発信の充実に努め、積極的な意見聴取を行うことにより、学校・家庭・地域の連携をより強化する。 | <ul style="list-style-type: none"> 育友会・同窓会等との連携を密にし、学校運営に対する協力・援助を求める。 育友会役員会の在り方を工夫し、参加しやすい状況を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> 育友会・同窓会の定例会に参加し、機会に応じて学校との交流を図る。 育友会の会員研修会への参加意識を高める。 <p style="text-align: center;">27年度 19名 → 28年度<目標:30名></p> | | | | |
| | 1-(2)-③ ○式・集会を充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 入学式・卒業式及び始業式などに生徒が主体的に取り組み、運営する力量を身に付けさせ、成就感や自信を持たせる。 司会生徒のアナウンス力を向上させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 式が厳粛かつ意義深く行われるよう、生徒会担当者や関係分掌等との連携・連絡を密にする。 放送部のアナウンス講習会等に、生徒会役員も参加し講習を受ける。 | | | | |
| | 3-③ ○中学生やその保護者を対象に五條高校の魅力を情報発信する。 | <ul style="list-style-type: none"> 五條高校紹介のパンフレット等を作成する。 学校説明会(中学校・保護者・塾等)を開催する。 | <ul style="list-style-type: none"> 『学校案内』(4,000部、稼働率95%以上)、『Good Job通信』(年間4回)、『キャンパスライフ』等の内容を検討し、改訂する。 機会あるごとに説明会を開催し、開催時期、方法等も工夫する。(年間20回以上) | | | | |
| | 3-③ ○中学生に本校の様子について体験できる機会を提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスを開催する。 | <ul style="list-style-type: none"> 9月の第4週土曜日に開催する。 <p style="text-align: center;">27年度 384人 → 28年度<目標> 400人</p> | | | | |
| | 2-① ○小学校運動会へ補助を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 市内小学校の運動会へ生徒を派遣する。 | <ul style="list-style-type: none"> 9月～10月上旬に実施される運動会の補助をする。(実施校の卒業生)(市内9校30人) | | | | |
| | 2-③ ○学校ホームページや掲示板等を充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校Webページの充実を図り、保護者等にリアルタイムで学校の状況を伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> 年間更新回数を増加させ、情報をタイムリーに発信する。 <p style="text-align: center;">27年度 100回 → 28年度<目標> 120回</p> | | | | |
| 教務部 | 1-(1)-① / 1-(1)-② ○学習活動の工夫を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の基礎学力の向上を図る。 生徒の実態に応じた授業展開、教材開発を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート「五條高校で行われている授業や課題、小テスト等に取り組むことで、うまく学習を進めることができている。」 <p style="text-align: center;">27年度 80.0% → 28年度<目標:82%></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート「五條高校では授業の方法が自分に適していて、内容がよく理解できそうである」 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------|---|--|--|--|--|--|--|
| | | | 27年度 75.8% → 28年度<目標:78%> | | | | |
| | | | 保護者アンケート「五條高校で行われている授業の内容や進め方に満足している」 27年度 89.3% → 28年度<目標:90%> | | | | |
| | 1-(1)-② / 1-(2)-③ / 4-④ / 4-⑥ ○ 授業と評価の改善、指導力向上を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> 各教科の研究授業を1回以上行い、その約半数の教科で指導主事を招いて実施する。 指導主事を招いた研究授業では、研究協議に教科の教員が全員参加できるよう努める。 他教科の任意の授業を参観する期間を設け、参観希望授業の集約や調整、時間割変更を確実に進行。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートにおいて、1学期末の評価より2学期末の評価が向上した教員の割合70%以上。 教員アンケート「五條高校では、研究授業など、授業改善に向けた取組が活発に行われている」 27年度 92.5% → 28年度<目標:93%> | | | | |
| | 2-③ ○ 本校の授業を中心とした教育活動を地域や保護者に情報発信する。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校行事で保護者が来校される日程にあわせてオープンスクール(授業公開)を行う。 授業等の様子をWebページに掲載する。 | <ul style="list-style-type: none"> 年度中に2回以上実施する。 Webページでの情報発信を年間20回以上。 | | | | |
| 生徒指導部 | 1-(3) ○ 基本的な生活習慣を確立する。 | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶や言葉遣い、身だしなみ、時間を守ること等、基本的な生活習慣を確立させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 年間欠席総数 目標昨年度比約10%減 27年度 1879回 → 28年度<目標:1691回> 年間遅刻総数 目標昨年度比約10%減 27年度 627回 → 28年度<目標:564回> | | | | |
| | 1-(3)-③ ○ 交通安全指導の徹底を図ると共に規範意識を向上させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 街頭での交通安全指導を実施するとともに、原付免許取得者や自転車通学生徒に対して各種集会を通して安全運転の意識を高める。事故・違反ともに絶無を目指す。 ホームルーム活動を通して、規範意識や人を思いやる態度を育成し、豊かな人間関係を築かせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 原付免許取得者集会、単車通学生集会、単車実技講習会、自転車通学生集会をそれぞれ開催する。 事故件数 27年度 13件 → 28年度<目標:0件> 違反件数 27年度 2件 → 28年度<目標:0件> 外部講師による生活安全講演会を年間1回以上実施する。 生徒アンケート「あなたは服装や髪型など学校の規則やきまりをきちんと守っていますか」 27年度 97.2% → 28年度<目標:98%以上> | | | | |
| | 1-(2)-①② / 1-(3)-① / 2-① / 3-①③ ○ 生徒会活動や部活動を積極的に奨励し、生徒の主体的活動を促進する。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒会執行部の活動の活性化を図り魅力ある実践活動を目指す。 部活動加入に向けた取組を工夫し、部活動加入率を向上させる。 各部に所属する生徒一人一人の所属感、使命感、活動意欲の高揚を図るため集会を開催する。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート「五條高校の生徒会活動は活発で、関心が持てる内容である」 27年度 65.1% → 28年度<目標:80%> 部活動加入率 27年度 73.5% → 28年度<目標:80%> 部員集会やキャプテン会議を学期に1回以上開催する。 | | | | |
| | 4-③ ○ 教育相談体制を確立する。 | <ul style="list-style-type: none"> 教育相談体制を整備して、支援を必要とする生徒(不登校傾向を示す生徒や特に困難な課題を持つ生徒等)やその保護者を対象に、外部機関と連携を図りながらカウンセリングを受ける機会を広げる。 | <ul style="list-style-type: none"> 問題を抱える生徒の早期発見、早期対応、予防的な取組を行う。 当該生徒対象にケース会議を調査期間中に開き、対応を検討する。 生徒アンケート「五條高校の先生は親身になって接してくれ、気軽に相談できる」 27年度 75.9% → 28年度<目標:80%> | | | | |
| 進路指導部 | 1-(1)-②④ / 1-(2)-③ ○ 計画的・系統的な進路指導を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 集会や説明会等を行うことで、望ましい勤労観、職業観を含め、進路について広く深く考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 集会、説明会等の実施総数10回。 | | | | |
| | 1-(1)-④ / 1-(2)-③ ○ 生徒一人一人の進路の実現に向けて、明確な目的意識を持って学習に取り組ませる。 | <ul style="list-style-type: none"> 進路決定に向けたホームルーム活動や相談活動を充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート(第3学年)「自分の希望する進路実現ができた」 27年度 (進路決定者の内)88.3% → 28年度<目標:95%以上> 生徒アンケート(全学年)「五條高校では、生徒一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」 27年度 88.2% → 28年度<目標:90%> | | | | |
| | 1-(1)-④ / 1-(2)-③ ○ 望ましい勤労観、職業観を身に付けさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 進路指導にかかわる職員研修の機会を適宜持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> 全体、学年ごとを合わせて、総数5回。 | | | | |
| 人権教育部 | 1-(2) ○ 職員の人権意識の資質向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進に関する職員研修会を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 年1～2回に、外部から招聘した講師による研修会を開く。 | | | | |
| | 1-(2) / 4-⑤ ○ 人権教育・道徳教育の充実を図り、人間としての在り方生き方を大切にする生徒を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> 人権教育ホームルームでの内容に「なかまづくり」を導入する。 道徳教育の全体計画を作成し、道徳教育を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じた人権教育年間計画を作成する。 道徳教育全体計画に基づき実施し、成果を検証する。 生徒アンケート「五條高校では、生徒に人権を尊重する態度を身に付けようとしている」 27年度 92.7% → 28年度<目標:95%> | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|--|--|--|
| | 1-(2) ○ 生徒の人権意識を高める。 | ・「人権を確かめあう日」の啓発文書の文案作成を各分掌に依頼し、多様な視点から人権について考えさせる。 | ・毎月の「人権を確かめあう日」に生徒・保護者向けの啓発文書を年10回発行する。 | | | | | |
| | 1-(2) ○ 人権系の力量を高める。 | ・全学年のホームルームから人権係を2名ずつ選出、人権意識向上の活動を行う。 ・人権系の生徒対象に人権にかかわる講習会を開催する。 | ・「人権を確かめあう日」の啓発文書配布時に、係生徒が全校生徒向けにその趣旨を放送によりアピールする。 ・ボランティア活動に積極的に参加する。 ・講習会を実施し、クラスでの人権教育の中心として活動できる力量を育てる。 ・人権映画会の司会を人権係が担当する。 | | | | | |
| 文化 図書部 | 1-(2)-② ○ 文化行事の充実を図る。 | ・文化行事の実施により、生徒の自主性や創造性を伸ばし、生徒自らが文化的な活動に取り組む意欲を醸成する。 | ・文化祭2日間の欠席者数を生徒総数の1%以内にする。 27年度 延べ16名 → 28年度〈目標:8名以内〉 ・カルタ大会・おはなし会を実施する。 | | | | | |
| | 1-(2)-②③ ○ 図書館利用の促進を図る。 | ・『図書館報』『図書館だより』を発行し、図書館利用を促進する。 | ・図書館利用者の増加を図る。 27年度 10,587人 → 28年度〈目標:11,000人〉 ・貸出冊数の増加を図る。 27年度 1,535冊 → 28年度〈目標:1,600冊〉 | | | | | |
| | 1-(1)-① ○ 読書活動の活性化を図る。 | ・生徒の読書の機会を増やし、自ら読書に取り組み、自らの生活を豊かなものにしようとする態度を養う。 | ・「読書の時間」を（月）と（木）のSHRの前に7分設定し、考査前1週間は、すべての日で実施。読書の習慣を身に付けさせる取組を進める。 | | | | | |
| 保健 体育部 | 1-(1)-① / 1-(2)-② / 1-(3)-② ○ 体育活動を積極的に取り組む姿勢を養う。 ○ 体力の向上を図る | ・体育活動を通して生徒の心身の健全な発育と体力の向上、(脚力、忍耐力を鍛える)を図るとともに生徒を主体とした体育活動を実施する。 ・体育活動を通じて人と連なるコミュニケーション能力を培う。 ・体育の授業だけでなく自らの生活の中で体力向上をめざす運動習慣を確立させる。 | ・球技大会、体育大会。耐寒登山を実施する。 ・各行事の目標参加率を95%以上とする。 ・体力測定、スポーツテストの結果を踏まえ全学年とも前年度を上回ること。(8項目中5項目以上数値アップを目指す) | | | | | |
| | ○ 校内美化を推進する。 | ・日々の清掃活動により校内美化を推進する。 ・大掃除を実施する。 | ・保護者アンケート「五條高校では、清掃が行き届いており、校内がきれいに整備されている。」 27年度 61.8% → 28年度〈目標〉70% | | | | | |
| 環境 美化部 | 1-(2)-① ○ 美化委員会活動を充実させる。 | ・当番制で花の水やり活動を進める。 ・通学路美化活動を実施する。 ・年2回花の植え替えをする。 | ・花の水やり活動を毎日実施する。 ・通学路美化活動を学期に1回実施する。 ・秋の120周年式典に向けて、分校の協力を得て、昨年以上の花を校内に飾る。 | | | | | |
| | ○ 防災教育を推進する。 | ・避難訓練等を実施することにより、防災意識を高め、災害から身を守る取組を進める。 | ・火災や地震等を想定した避難訓練を5月に実施する。 ・防災についての放送で生徒に呼びかける。 ・職員研修を行う。 | | | | | |
| | 120周年 事務局 | 1-(2)-①② ○ 120周年関連行事への生徒の自主的な参加を促す。 | ・生徒会を中心に、学校諸行事に120周年を明確に位置づけ、全校生徒が意識するよう働きかける。 ・校内だけでなく地域にもその働きかけをする。 | ・例年の学校行事が120周年関連諸行事となるよう位置づける。 ・それらの企画、準備、進行、総括に生徒会が主体的に関わるよう役割分担する。執行部全員に役割分担する。 ・生徒からの全校アピールに120周年を含めた内容を入れる。年間10回以上のアピールの場を設定する。 | | | | |
| | 2-② ○ 120周年行事を円滑に実施する。 | ・育友会、同窓会と連絡を密にし、それらの意見を最大限に行事に反映させる。 | ・実行委員会校内部会を月1回以上、同窓会育友会を加えた実行委員会を年間6回以上開催し、連携を深める。 | | | | | |
| 3-① ○ 120周年関連行事を通して、地域への情報発信を充実させる。 | ・学校HPだけでなく、マスコミへの情報発信も積極的に行っていく。 | ・マスコミ各社への情報提供を年間10回を目処に積極的に行う。 ・教務部や総務部と連携し、オープンスクールやオープンキャンパス、中学校訪問やサタデーセミナー等の機会に情報発信をしていく。対象中学生数300人以上。 | | | | | | |
| 4-① ○ 120周年の取組が、本校教育今後10年展望の契機となるよう内容を充実させる。 | ・120周年の諸行事を通して全校生徒の規範意識が更に向上するよう働きかけ「五高ブランド」を再構築する。 | ・校外での部活動や地域へのボランティア活動の機会、そして就職や進学での面接試験において、生徒たちが120周年を自らアピールできるよう教育していく。 ・校内での様々な集会の場で、120年の歴史と伝統の意義について生徒たちに啓発していく。啓発活動年間10回以上実施する。 | | | | | | |
| 第1学年 | 1-(3) ○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。 | ・中学校との違いを認識し五條高校の生徒としての自覚を持たせ、遅刻や欠席をせず授業に集中して取り組む姿勢を養う。 | ・遅刻の各クラス別年間総数の平均15回未満、欠席が100回未満とする。 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|------|--|--|---|--|--|--|--|--|
| | <p>1-(3)-① ○ 部活動への参加を勧める。</p> <p>1-(1)-① ○ 基礎学力を充実させる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習と部活動の両立を目指し、学校生活を意欲的に過ごす姿勢を育てる。 ・授業を最大限に活用し、予習・復習を毎日の習慣とさせて、家庭学習の習慣を身に付けさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の加入率が80%以上とする。 ・ほぼ毎日家庭学習をする生徒の割合が70%以上。 | | | | | |
| | <p>1-(1)-④ ○ 進路目標を明確化させる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自らの興味・関心に基づき、適性を探り、進路についての考えを深め、確固たる進路目標を持たせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・LHR等の時間を利用し、第1学年の間に進路目標が定まった者が、80%以上とする。 | | | | | |
| 第2学年 | <p>1-(3) ○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・中堅学年としての自覚をもたせ、遅刻や欠席をせず授業に集中して取り組む姿勢を養う。 ・挨拶、言葉遣い等の礼儀作法を徹底させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻の各クラス別年間総数の平均が25回未満、欠席が85回未満。 | | | | | |
| | <p>1-(1)-① ○ 自主学習の定着を図る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出、小テストの合格に向けての準備を徹底させ、自主学習を習慣付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平日にほぼ毎日家庭学習をする生徒の割合が70%以上。 | | | | | |
| | <p>1-(1)-④ ○ 具体的な進路目標を設定させる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる場面を通じて、主体的に自己の進路について考えさせ、より具体的な進路目標を設定させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年の間に志望校、志望職種が定まった者が85%以上。 | | | | | |
| 第3学年 | <p>1-(3) ○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な挨拶、言葉遣い等の礼儀作法、判断力、規範意識を身に付けさせる。また、残り少ない高校生活を無駄にせず、充実した毎日を過ごさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・最高学年としての自覚と責任を持ち、時と場に応じた言動ができる。 ・クラス別年間遅刻総数の平均が20回未満で、欠席総数の平均が70回未満とする。 | | | | | |
| | <p>1-(1)-① ○ 自主学習の定着を図る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路を見据えて、授業、進学講習等に能動的に取り組ませるとともに、家庭においても自主的な学習を定着させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平日に家庭学習をほぼ毎日する生徒の割合が90%以上。 | | | | | |
| | <p>1-(1)-④ ○ 進路目標を決定させ、その実現に向けて取り組ませる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な進路目標を主体的に決定し、その実現に向けて効果的・能動的に取り組ませる。 ・一人一人の進路に応じて丁寧な指導を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・就職、進学の決定率が95%以上。 ・「一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」生徒アンケート・保護者アンケート第3学年が90%以上。 | | | | | |